



茨 歯 会 報

No.586

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

April
2018
平成30年

4



Contents

デンタルアイ	1
岡崎 恵一郎	
理事会報告	3
会務日誌	5
学術委員会だより	7
地域保健委員会だより	10
広報委員会だより	12
医療管理委員会だより	13
センターだより	17
女性歯科医会だより	20
専門学校だより	23
地区歯科医師会だより	25
丸島 佳世子	
ピンクのエプロン	28
住谷 由香利	
リレー通信	29
河内 祥泰	
国保組合 NEWS	32
事務連絡	33
赤えんぴつ	34

表紙写真について

桜の満開に咲く京都（高台寺）
(社)茨城県南歯科医師会 久米 清

歯科専門学校と日歯学術の紹介 その2



常務理事
岡 崎 恵 一 郎

平成30年度がはじまり会員の皆様も診療報酬改定・学校健診など忙しい時期かと思います。昨年6月号の「Dental Eye」で、6年間の学術部部長を退き専門学校副校長としてスタートしたばかりと報告しました。就任から1年が経過し、学校の良い点・悪い点が判明し、改善に注力してきました。学生が学びやすい環境、そして、歯科の仕事に情熱を持つ学生の輩出。理想は高いのですが、昨年も報告した「2018年問題」（これまでの大学学生募集数増加・18歳人口が2018年を目途に減少開始）をかかえる中、学生集めに、そして、どのようにしたら全学生が歯科に興味を持つのかに時間が費やされています。学生集めでは、校長・副校長・専任教員の学校訪問に加え、高等学校校長経験者のアドバイザーにお願いし、歯科衛生士・歯科技工士になるための学校があるということの広報を行った結果、現時点で歯科衛生士科は定員の50名が、そして歯科技工士科は9名の入学予定数となっています。新学期になると、また次の学年のため学校訪問がはじまります。高校の学校歯科医の先生、また校長をはじめ高校教員にお知り合いがいらっしゃる先生は、多くの受験者が来るようぜひ歯科専門学校を周知いただければと思います。最後に、一番報告したい国家試

験の結果ですが、茨歯会報が皆様のお手元に届く直前の3月28日の発表ですので、原稿執筆時点では結果がわかりません。歯科技工士科は例年ほぼ100%ですが、昨年不合格を出してしまった歯科衛生士科も、自己採点ではしっかりと手ごたえがあったようです。

次に、昨年同様、日本歯科医師会・学術委員会関係について報告します。すでに、茨歯会からも何度か案内が出ていますので一部ご覧いただいたと思いますが、平成30・31年度は、日歯生涯研修実施要領、Eシステム共に大きな変更が加わりました。

まず、Eシステムで教材研修を行い単位取得するには、プレテスト3問・ポストテスト5問を受ける必要があります（PDF文献はポストテスト5問のみ・単位を取らずに閲覧だけでも可能）。テストの究極の目的は、歯科医師の生涯研修の質を担保することです。一定レベル以上の研修を続けていることを国民にもアピールし、さらに新たな展開につながればと期待しています（まだ詳細を書けないのが残念です）。

そして、生涯研修実施要領では、平成20年から続いた「受講研修」・「教材研修」・「能動研修」が、「受講研修」・「e-learning研修」・「日歯生涯研修セミナーライブ研修」の3本立

てに変わります。日歯の生涯研修ですので、そのメインの事業である生涯研修セミナーを多くの会員に受けていただきたいという意向のようです。2年間で2回受講し、その他の要件も満たすと、これまでの「認定」にかわり「日本歯科医師会生涯研修総合認定医」という肩書きと認定医証が届きます。一つ問題は、この「生涯研修セミナー」が関東では東京を除く7県で1か所しか開催されません。これまで茨城でたびたび開催されていたのは、平成25年度までは東京を除く関東7県で2回開催されていたこと、その後は茨城が何度も手を挙げて頻繁な茨城開催にこぎつけたという経緯があります。今後

は、総合認定医取得に向けて関東各県も開催を希望するかも知れません。幸い今回平成30年度は、8月5日に茨城県で生涯研修セミナー開催が決定しております。演題は下記の通りです。ぜひ、多くの会員の参加をお待ちいたします。

【日歯生涯研修セミナー（茨城）】

日時：平成30年8月5日（日曜）

テーマ：今求められる口腔健康管理

講師：天野敦雄先生（大阪大学教授）

「最先端のバイオフィルム管理法」

講師：杉 政和先生（石川県開業）

「開業医にもできるがん患者の口腔健康管理」

株式会社岩瀬歯科商会

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット

**SIGNO
NEXT**

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、ワンランク上のラグジュアリー空間と心地よさを演出します。

■ 会社名称 株式会社岩瀬歯科商会
■ 代表者 岩瀬 浩二
■ 所在地 栃木県宇都宮市小栗町1-1-1
■ 電話番号 028-250-0000
■ 代表取締役 岩瀬 浩二

製造販売・製造
株式会社モリタ東京製作所

発売
株式会社モリタ

本社〒350-0194 埼玉県川口市中央区上落合2-1-54 TEL:048-882-1315 大阪本社 大阪府吹田市豊水3-33-18 TEL:06-6380-2525
伊東工場 埼玉県北足立郡伊東町小室7129 TEL:046-723-2021 東京本社 東京都台東区上野2-11-15 TEL:03-3834-6161



事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	NEW TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	NEW TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

理事会報告

第12回理事会

日 時 平成30年2月15日（木）16時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

1. 報 告

- (1) 一般会務報告 （報_資料1）
- (2) 退会について
- (3) 共催依頼つくばピンクリボンフェスティバルについて
- (4) 疾病共済の給付について
- (5) 開業予定の歯科医院について
- (6) 第26回茨城県歯科医学会第16回福田賞について
- (7) 医療アドバイザー業務報告 平成29年度
- (8) 平成29年度後期高齢者歯科健康診査について
- (9) 各委員会報告について
厚生委員会、地域保健委員会、介護保険委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

2. 協議事項

- (1) 第2回地区会長協議会について
(協_資料2)
標記協議会について、承認した。
- (2) 平成30年度茨城スポーツ健康づくり歯学協議会PT委員会事業計画及び予算について
(協_資料2)
標記について、承認した。
- (3) 平成29年度歯科医学会講師謝礼について
(協_資料3)
標記講師謝礼について、承認した。
- (4) 施設基準届出のための研修会について
(協_資料4)
標記研修会について、承認した。
- (5) 第17回日本睡眠歯科学会総会・学術大会の共催について
(協_資料5)
標記睡眠学会総会・学術大会の共催について、承認した。
- (6) 日歯広報コラム「都道府県通信」の執筆について （協_資料6）
標記日歯コラムの執筆について、岡崎理事に一任することに承認した。
- (7) 茨城歯科専門学校学則等の一部変更（案）について
①教育課程及び授業時間の変更
(協_資料7-1)

②茨城歯科専門学校特待生制度規程の変更
及び条項字句の整理 (協_資料7-2)

標記教育課程及び授業時間の変更について、承認した。

標記特待生制度規程の変更について、承認した。

(8) 「日本スポーツ・健康づくり歯学協議会認定講習会、茨城県歯科医師会マウスガード製作講習会（5月20日）の企画展示について
(協_資料8)

標記認定講習会について、承認した。

(9) 公益社団法人茨城県歯科医師会事務局規程の一部改正案について (協_資料9)
標記事務規程の一部改正案について、承認した。

(10) 衛生士科、職員について
標記について、承認した。

(11) 事務局人事について
標記人事について、承認した。

(12) センター運営委員会資料について
標記運営資料について、承認した。

(13) 土浦センター勤務医について
標記勤務医について、承認した。

(14) クレーム対応保険について
標記保険について、継続して審議することとした。

(15) その他
○行事予定について
平成30年2月25日（日）
第26回歯科医学会（プラザホテル）
平成30年3月1日（木）
第2回地区会長協議会
平成30年3月8日（木）第13回理事会

会務日誌

- 2月15日 保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
対象医療機関数 5
- 2月15日 こどもを守る110番の家ネットワーク会議が県警本部にて開催された。
出席者 千葉理事
- 2月15日 第4回業務・会計監査を執行。業務並びに制度に関する監査（12月1日～1月31日）、
会計に関する監査（収支現況）を実施した。
出席者 鈴木監事ほか7名
- 2月15日 第12回理事会を開催。第2回地区会長協議会、平成30年度茨城スポーツ健康づくり歯学
協議会PT委員会事業計画及び予算、平成29年度歯科医学会講師謝礼、施設基準届出のため
の研修会、第17回日本睡眠歯科学会総会・学術大会の共催、日歯広報コラム「都道府県通
信」の執筆、茨城歯科専門学校学則等の一部変更（案）、「日本スポーツ・健康づくり歯学
協議会認定講習会、茨城県歯科医師会マウスガード製作講習会（5月20日）の企画展示、茨
城県歯科医師会事務局規程の一部改定案、衛生士科職員、事務局人事、センター運営委員会
資料、土浦センター勤務医、クレーム対応保険について協議を行った。
出席者 森永会長ほか18名
- 2月17日 茨城県歯科大学同窓会・校友会懇話会が水戸京成ホテルにて開催された。
出席者 森永会長
- 2月18日 第2回スタッフセミナーを古河市福祉の森会館にて開催。接遇マナー・意識向上について
接遇マナー講師小原孝子先生を招いて研修を行った。
受講者 34名
- 2月21日 日学歯加盟団体長会が日歯会館にて開催され、平成30年度事業計画案の大綱ほかについて
協議を行った。
出席者 森永日学歯代表会員
- 2月21日 学校保健総合事業第2回連絡協議会が県庁舎にて開催され、次年度の取組予定ほかについ
て協議が行われた。
出席者 千葉理事
- 2月22日 テロ対策茨城パートナーシップ推進会議総会が東海村「産業情報プラザ」にて開催され、
平成30年度テロ対策茨城パートナーシップ推進会議活動計画（案）ほかについて協議が行わ
れた。
出席者 村居常務
- 2月22日 第11回日歯理事会が日歯会館にて開催され、時局対策について協議が行われた。
出席者 森永日歯代議員会副議長

- 2月23日 都道府県会長会議が日歯会館にて開催され、時局問題について協議を行った。
出席者 森永会長
- 2月23日 第2回関東地区歯科医師会事務局長会議が中央区内にて開催され、神奈川県より提出のあった題目について情報交換を行った。
出席者 鈴木事務局長
- 2月23日 関東地区歯科医師会会長会議が港区内にて開催された。
出席者 森永会長
- 2月23日 第11回社会保険正副委員長会議が水戸市内で開催され、第11回委員会、診療報酬改定説明会、施設基準届出のための研修会について協議が行われた。
出席者 榊社会保険部長ほか2名
- 2月23日 第2回茨城県へき地医療支援計画策定会議が県立中央病院にて開催され、平成30年度へき地医療支援計画ほかについて協議が行われた。
出席者 今湊理事
- 2月24日 前日本歯科医師会会長の久保満男先生の旭日重光章受章祝賀会がホテルニューオータニで開催された。
出席者 森永会長
- 2月25日 第26回茨城県歯科医学会を水戸プラザホテルにて開催。22題の一般口演、11題のポスター発表、2題のテーブルクリニック、3題の公開講座、12の各種企画、書籍展示などを行い、1,043名の参加者を見た。また併催した第39回茨城デンタルショーへは68社が出展し、歯科用機材などの展示を行った。
- 2月26日 国体実行委員会第5回宿泊・衛生専門委員会が県庁舎にて開催され、医療救護要項（修正案）ほかについて協議が行われた。
出席者 小林常務
- 2月28日 第2回日本歯科医師会議事運営特別委員会が日歯会館にて開催され、第187回臨時代議員会の議事運営ほかについて協議が行われた。
出席者 森永日歯代議員会副議長
- 3月 1日 第2回地区会長協議会を開催。平成29年度シニア共済収支現況、専門学校の実況、フッ化物応用推進（保育所・幼稚園・こども園等におけるフッ化物洗口普及）事業、認定歯科医師による歯科特殊健康診断、国体等における後方支援協力歯科医院のお願い、提出議題・要望等について協議を行った。
出席者 間宮日立歯科医師会会長ほか26名



第26回茨城県歯科医学会開催

学術委員会 安藤 和成

去る2018年2月25日（日）に、第26回茨城県歯科医学会（併催 第39回茨城デンタルショー）が水戸プラザホテルにて盛大に開催されました。偕楽園では梅まつりが始まり、梅の香りが春の訪れを告げる中、会員歯科医師306名、会員外歯科医師71名、歯科衛生士209名、歯科技工士68名、市民ほか多数の参加もあり計1043人の参加を得て、会場の水戸プラザホテルは熱気で盛り上がりました。



開会式は、中井委員の司会にて進行し、森永和男会長の挨拶、来賓の紹介（県保健福祉部次長 岡村弘志様、県医師会副会長 石渡勇様、県薬剤師会会長 根本清美様、県看護協会会長 相川三保子様、県栄養士会会長 政安静子様、県食生活改善推進員協議会副会長 荷見紀世美様、鶴見大学歯学部 保存修復学講座 教授 桃井保子様）に続き茨城県保健福祉部次長 岡村弘志様、茨城県医師会副会長 石渡勇様よりご祝辞を頂きました。開会式後は第39回茨城デンタルショーのテープカットが行われ、その後多くのプログラムがスタートしました。



一般口演は22題、ポスター発表は11題でいずれも活発な質疑応答と討議が交換され充実した内容でした。栃木県歯科医師会とは平成24年より交流し、栃木県代表として手塚歯科医院院長 手塚永均先生が口演発表をされました。

テーブルクリニックは午前日本歯科大学臨床教授の池松武直先生が「閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症候群（OSAHS）の連携医療－OAの作成法と役割について－」、午後は石岡第一病院 口腔外科の萩原敏之先生が「薬剤関連顎骨壊死に対する最近の考え方」という演題にてレクチャーを行い、立ち見も多く会場は熱気に包まれていました。

公開講座は事前登録制でしたが当日参加の方もおり、沢山の市民、医療関係者、会員歯科医師とスタッフの参加を得ました。

公開講座Ⅰは、弁当プロジェクト5－「食べる」を育てる・維持する・補う－と題して、茨城県歯科医師会東西茨城地区食文化研究会の塙章一先生が、弁当プロジェクトの目指す予防の領域に

について、石巻市雄勝歯科診療所所長の河瀬聡一郎先生が摂食・嚥下のハイリスクの領域について講演されました。



公開講座Ⅱは、「大人だけかなるむし歯：いつ、どうして？ どんな治療」と題し、鶴見大学歯学部保存修復学講座教授 桃井保子先生が一般市民に対し分かりやすく根面う蝕の疫学と治療法・予防法について解説されました。

公開講座Ⅲは、シンポジウム形式で「ここちよい眠りを求めて―世代を超えた睡眠呼吸障害への対処法―」と題し、関連する専門家の講演が行われました。講演者は茨城県立こころの医療センター病院長 土井永史先生、茨城県立水戸第一高等学校養護教諭 海老澤恭子先生、横浜市げんかい歯科医院院長 元開富士雄先生、医療法人社団日鉦記念病院呼吸器内科医長 天田敦子先生、東京医科大学茨城医療センター歯科口腔外科科長・教授 松尾朗先生であり、それぞれの立場から医科歯科連携と睡眠医療の最前線について意見を述べられ、次いで会場からの質問について討議しました。



介護保険委員会の企画では、「地域包括ケア時代の在宅医療 ～歯科医師への期待～」と題し、医療法人アスミス理事長 太田秀樹先生がご自身の27年間実施してきた在宅医療の経験を講演され、多職種共同の重要性と歯科医師の役割が不可欠であることを強調されました。

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸・口腔センター土浦は、「障害者の歯周病の原因と治療の実際」と題し、東京都立心身障害者口腔保健センター診療部治療室長 関野仁先生がセルフケアの難しい障害者の治療とメンテナンスについてご自身の10年の経験から講演されました。

茨城県女性歯科医会は、虎の門病院乳腺内分泌外科部長 川端英孝先生が「最近の乳癌治療事情について」という演題で、乳癌の総論から治療法の変革と最新のトピックスについて講演されました。

鈴木昇一先生の「写真道場へようこそ！」は、今年で20回を迎えましたが、申込受付開始後すぐに定員に達して、毎年人気のコーナーです。

(公社)茨城県歯科衛生士会・茨城歯科専門学校 歯科衛生士科は、「歯周基本治療における歯科衛生士の役割」と題し、井荻歯科医院・花村歯科医院に勤務される歯科衛生士の小森朋栄先生が、プロビングとSRPの重要性について講演されました。

(公社)茨城県歯科技工士会・茨城歯科専門学校 技工士科は、「口腔内スキャナと3Dプリンターを利用したモデルフリー・パーシャルデンチャーの製作方法と活用法」と題し、Denture staff 代表の佐藤哲也先生が、デンチャーワークに口腔内スキャナやCAD/CAMを導入するメリットとリスクマネジメントについて講演されました。

地域保健委員会は、第7回噛むかむレシピコンテストの作品展示と表彰式を行いました。今年度のテーマ食材は、茨城県がトップクラスの生産出荷量を誇る「小松菜」とし、「小学生以下の部」の4作品、「中学生・高校生の部」6作品、「一般の部」2作品の計12名が受賞し、表彰式には9

名の受賞者の参加がありました。

学校歯科委員会は、平成28年度に変更のあった検診基準についてポスター展示し、併せて委員による説明を行いました。

厚生委員会は、なでしこクラウドより弦楽三重奏の演奏者が、クラシックからポピュラーまで様々な楽曲を演奏され、会場に癒やしの時間を添えて頂きました。

茨城歯科専門学校 歯科衛生士科・歯科技工士科は、それぞれ自校の紹介をポスター・口頭にて行いました。

ランチョンセミナーは、「歯科の明るい未来をCAD/CAMが作る！」と題し、医療法人社団徹心会ハートフル歯科 下田孝義先生が、CAD/CAM食わず嫌いな会員にその有用性・将来性について講演されました。

第17回福田賞は、茨城県女性歯科医会に授与され、会長の萩原洋子先生が登壇し賞を受け取り、会場からは、「福田賞」の名称の由来となった、故 福田守利先生の奥様である福田富貴子先生もお礼のお言葉を述べられました。

また、併催した第39回茨城デンタルショーは、68社が出展し各ブースで盛り上がりを見せていました。



学術委員会では、これから第26巻 茨城県歯科医学会誌の編集に取り掛かり、今秋に発刊予定です。一般口演、ポスター発表、テーブルクリニック、各企画の事後抄録は第26巻の発刊をお待ち下さい。次回の演題申込は学会誌の「第27回茨城県歯科医学会のご案内」演題募集要領をご覧ください。併せて、投稿論文も受け付けています。

次回の第27回歯科医学会は、来年2月3日（日）水戸プラザホテルにて開催されます。会員の皆様よりご意見・ご要望を承り、一層の充実を目指します。また、会員の皆様のご発表、ご参加、ご協力を是非ともお願いします。





第7回噛むかむレシピ表彰式報告

地域保健委員会 吉田 孝生

2月25日（日）に、水戸プラザホテルアトリウムにて噛むかむレシピコンテスト表彰式が執り行われました。噛むかむレシピコンテストは、平成23年度から実施しており、今回で7回目になります。今年度のテーマ食材は、「小松菜」でした。関係機関のご協力のもと、広くPRを行った結果、小学生の部196作品、中学生・高校生の部301作品、一般の部105作品、合計602作品という多数の応募がありました。その中から、厳正な審査の結果、12作品が受賞となりました（授賞式参加者は9名）。

表彰式は、森永会長の主催者挨拶、北見担当理

事よりコンテストの経過報告に続いて後援団体の茨城県農業協同組合中央会様からのメッセージが、土屋委員長により代読されました。続いて表彰式が行われ、賞状と記念品(図書券または商品券と「よ坊さん」のぬいぐるみ)が授与されました。部門ごとに記念撮影を行いました。ご家族も持参のカメラで撮影し、会場は和やかな雰囲気でした。茨城県農業協同組合中央会様から副賞として「干し芋」が提供されました。

受賞者代表挨拶は2年連続受賞の大洗町の酒井晴渚さんでした。

以下、受賞作品です。

受賞作品

小学生以下の部

敬称略

料理名	氏名	所属
小松菜とじゃこのピーナッツあえ	久保 結帆	牛久市立牛久小学校
小松菜オムライス	橋口 香楓	牛久市立牛久小学校
小松菜と野菜たくさんのすいとん	小橋彩莉咲	水戸市立吉沢小学校
いばらキッシュ	橋本 妃莉	牛久市立岡田小学校

中学生・高校生の部

料理名	氏名	所属
小松菜シャキシャキのりまき	酒井 晴渚	大洗町立南中学校
野菜たっぷりかむかむちまき	江幡 爽花	水戸市立見川中学校
長〜くカムカム小松菜ステック揚げぎょうざ	永山 聖	城里町立常北中学校
小松菜ケーキ	川又 淳矢	城里町立常北中学校
小松菜入り肉だねのきつねサンド焼き	介川 真帆	城里町立常北中学校
小松菜ビビンバのおにぎらず	三村 麗	茨城県立取手第二高等学校

一般の部

料理名	氏名	所属
小松菜ロールの噛みかみあんかけ	高橋 加奈	常磐大学人間科学部健康栄養学科
Let'sカムカム小松菜ボール	中山 陽子	一般

最後に中川学園調理技術専門学校の中川一恵先生から、「今回のテーマ、小松菜は難しい食材と思われましたが、私の発想にはない調理法があり、工夫されたすばらしい作品が多く、選ぶのに苦労しました。」との総評をいただきました。

噛むかむレシピ賞の作品は、茨城県歯科医師会ホームページに掲載されていますので、是非ご覧くださいようお願いいたします。

噛むかむレシピコンテストは、回を重ねるごとに、関係機関との連携が深まり、栄養教諭の指導のもとに多数応募くださる学校が増えるなど、食育活動の輪が広がっています。

今後も、地産地消をテーマに、料理をつくる楽しさや、よく噛んで味わって食べる大切さを伝えていく企画を行っていききたいと思います。



第26回茨城県歯科医学会報告

広報委員会

2月25日（日）、水戸プラザホテルで第26回茨城県歯科医学会（併催 第39回茨城デンタルショー）が開催されました。

なでしこクラウドによるウェルカム演奏が奏でられる中、受付を済ませ、午前9時30分より開会式と演者紹介が行われました。

午前10時にはテーブルカットが行われ、同時に一般口演、テーブルクリニック、各セミナー、ポスター展示、県民公開講座そしてデンタルショーなど盛りだくさんのプログラムが開始されました。

今年のデンタルショーは68社の出展があり、各ブースとも盛況でCT、CAD/CAMなど先端機器のコーナーに興味を持たれる先生が多かったようでした。

デンタルショーの会場前には「学術委員会の本

屋さん」、その向かい側には「豪華賞品が当たるかもしれない抽選会」。

さらに通路にはポスターが展示され、講演も含めて歯科専門学校学生、歯科衛生士、歯科技工士などパラデンタルの積極的な参画も目立ちました。

お昼には“囃むかむレシピコンテスト”の表彰式も行われました。今年は602作品という多数の応募があり、12作品が受賞となりました。

今回の学会の来場者数は、総計1043人とのことで、大盛況のうちに終了しました。茨歯学会とデンタルショーは最新の知識・モノに触れられる絶好の機会です。まだ来たことのない会員の先生、来年の開催も決定しております。平成31年2月3日は第27回茨歯学会に行ってみましょう。



演者紹介



なでしこクラウド



デンタルショー



ポスター展示

医療+管理委員会 だより

平成29年度第2回スタッフセミナー報告

医療管理委員会 渡辺 伸哉

本年度2回目のスタッフセミナーが平成30年2月18日（日）、古河市の古河福祉の森会館にて開催されました。今回は34名の医院スタッフが受講し、院長先生も2名見学されました。

講師には前回から引き続き小原孝子先生をお招きし、他2名のアシスタントの先生にもお手伝いいただきました。



小原先生は、日本航空客室乗務員として約20年間勤務され、その後は客室乗務員訓練部教官、政府専用機初代担当教官などの管理職を歴任されました。

現在は、日本マナーOJTインストラクター協会認定講師として多方面でご活躍され、自治体やホテル、銀行、その他様々な企業での講師経験がある方です。

今回のセミナーは10時から15時までで、次のような内容で行われました。

「PS（患者様満足）向上研修 より一層の患者様満足のために」

1. はじめに～医療従事者に必要な接客とは

- *一般的なサービス業との接客の違い
患者様は負の感情を持って来院する
- *能力および教育の必要性
最初からできる人はいない
- *委員全員で働く気持ちの大切さ
思いやりの心が大切

2. マナーの五原則

- *表情、挨拶、身だしなみ、話し方、仕草・態度
- *笑顔の目的
相手に親近感を与えるため
作り笑顔も必要
- *スマイルトレーニング（笑顔の作り方）

3. 美しい姿勢・お辞儀

- *美しい姿勢の練習
- *お辞儀の持つ意味
心を開く、心に迫るという意味を忘れずに



行うことが必要

* スマートなお辞儀のポイント

* お辞儀の種類（目礼、会釈、敬礼、最敬礼）

4. 第一印象の徹底

* 身だしなみのチェック

清潔感、機能性、周囲との調和

自己満足でない第3者目線で見える

5. 感じの良い話し方、電話対応

* 感じの良い話し方のコツ

敬語、クッション言葉、肯定的否定+代案

提示、依頼文

* 基本の接客用語

* 電話対応6つのルール

- 1) 3コール以内に出る
- 2) 最初の名乗りをしっかりと
- 3) 相手を待たせない
- 4) いきなり本題に入らない
- 5) 連絡事項は正確に
- 6) 終わりの挨拶は丁寧に

* ロールプレイングタイム

受電、掛電の練習

6. クレーム対応

* 発生源を理解する

期待値と結果のギャップ

* 対応手順

1) お詫びする 不快な思いをさせたことに
対して

2) 相手の話を聞く

3) 相手の気持ちを理解する

4) 事実確認

5) 解決案・代替案の提示

6) お詫びと感謝

* 不満・不安・不審・不便・不経済の解消に
努める

7. まとめ・ふりかえり

* 何を学べたか

* 今後はどう活かすか

初めは緊張で硬い表情だった受講生が、小原先生の巧みな話術と心のこもった指導の下で、次第に社会人としての接遇マナーを理解し、自信に満ちた態度と明るい笑顔へと変貌を遂げる様は感動さえ覚えました。

医療人としてだけでなく、人としての「思いやりの心」を学べる素晴らしいセミナーとなっております。

スタッフセミナーは年2回開催されています。

お近くで開催の際には、スタッフに参加を勧めてみてはいかがでしょうか。

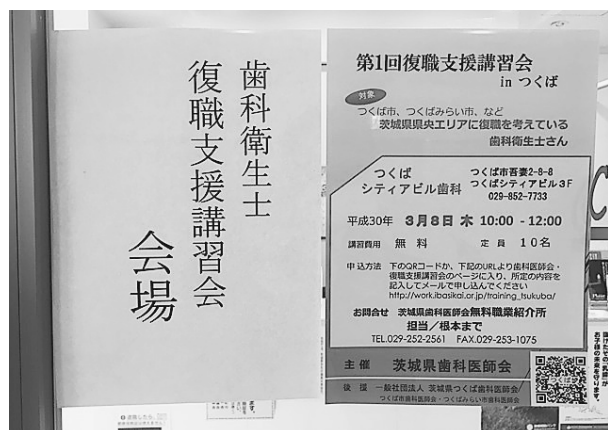


歯科衛生士復職支援講習会 in つくば

医療管理委員会 印南 亮一

平成30年3月8日（木）、つくば地区の復職支援講習会が開催されました。

つくば地区では今回が初めての開催となりましたが、会場はつくば歯科医師会医療管理委員の伊澤武志先生のご協力により、TXつくば駅から程近くにあるつくばシティアビル歯科をお借りして行われました。



また、講師は茨城県歯科衛生士会の岩村昌子副会長にお願いしました。

今回は1名の受講生をお迎えして午前10時から12時まで講話と実技による講習、そして最後には就職相談を実施しました。なお、相互実習の際にはつくばシティアビル歯科の大塚歯科衛生士に協力していただきました。

定刻通り岩村講師がDVDを使いながら講話を開始しました。DVDの内容は1) プロービングとスケーリングについて 2) エアフローとPMTCについて 3) 超音波スケーラーとエアスケーラーについての3項目でした。

続いては講話内容を踏まえての実技・実習を行いました。

今回の受講生は歯科衛生士として2年間勤務し

た後、結婚と出産をされて離職してから14年間のブランクがあったため、現代の歯科治療や歯科機材等への対応を非常に不安に感じておりました。岩村講師からその点に関しては、各医院による治療の方針・方法に多少の違いがあるのは仕方ないとしても、歯科衛生士としての業務に関しての基本は何ら変わる事が無いので心配はいらないということや、結婚や育児をされてきたこの14年間で培ってきた社会的な経験を、これからの仕事に活かして欲しいとのアドバイスをしていただきました。

岩村講師の助言に安心した様子で、実技・実習をこなす様子はブランクを感じさせる事の無い手際の良さで、むしろ久しぶりのスケーリング等の処置を楽しんでいる様子でした。またアシスタントを務めてくれた大塚衛生士も岩村講師に積極的に質問するなど、終始和やかな雰囲気で行われました。

その後、講義内容と実習についての質疑応答や、復職支援相談を行いました。

受講者は取手市在住（2月に守谷市で開催予定であった講習会には都合が合わなかったとの事で



した)なので、希望する勤務条件としては取手市近郊で、週に3日くらい午前9時頃から15時または16時頃までのパート勤務を希望しているそうです。したがって、今回の復職相談においての具体的な勤務先の相談やアドバイスは出来ませんでしたので、県南地区担当の医療管理委員に就職斡旋の引き継ぎをしました。

次年度も各地区で同様の講習会が行われますので、会員の皆さまにおかれましては歯科衛生士復職支援にご協力・ご理解いただき、茨城県歯科医師会から送付されてくるポスターを待合室の目立つ場所に掲示していただきますようお願い致します。

また、県歯ホームページの無料求人サイトの活用もお願いします。

茨歯会無料職業紹介所

<http://work.ibasikai.or.jp/>





第26回茨城県歯科医学会 障害児・者歯科講演会報告

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

関口 浩、村居 幸夫、征矢 亘、森永 和男

はじめに

平成30年2月25日(日)の第26回茨城県歯科医学会におきまして、(公社)茨城県歯科医師会主催の障害児・者歯科講演会が開催されました。今回は「障害者の歯周病の原因と治療の実際」と題して、関野 仁先生(東京都立心身障害者口腔保健センター診療部 治療室長)にご講演いただきました。本講演会には歯科関係者以外に障害者に携わる多職種の方など56名の参加者の皆様にご来場いただき、熱心に拝聴されていました。講演終了後には参加者と活発な質疑応答が交わされ、盛会のうちに終了しました。本講演会について、アンケート結果をもとにご報告します。



講師 関野 仁先生

講演内容の要旨

歯周病は大きく歯肉炎と歯周炎に分類され、どちらも細菌が引き起こす炎症性病変です。歯肉炎

の症状は歯肉に限局しており、主な症状は歯肉からの出血や腫れです。一方歯周炎は、歯肉だけではなく、目では見えない歯の周りの組織(歯周組織)に炎症が波及します。病態としては、歯と歯肉の境目が剥がれ、歯を支えている骨が減っていき、歯周ポケットを形成します。歯周ポケットの深い場所では、歯磨きが届かなくなるため、細菌がどんどん繁殖していきます。その結果、膿が溜まる、歯がグラグラする、口臭がするなどの症状が悪化していきます。

この歯周病の原因である細菌は歯垢(=プラーク)中に多く存在しています。このため、歯周病治療ではこのプラークをいかに排除できるかが治療成功への鍵となります。この基盤となるのが日常のケア(歯磨き)です。しかし、障害者は自身でのケアや介助によるケアが難しいことがあり、健常者と比較して歯周病になりやすく、若年で重症化するという特徴があります。さらに、歯科治療への協力性、咬み合わせの問題、抗てんかん薬の副作用による歯肉の腫れなど、歯周病のリスクが重なる障害者の歯周病治療は、一般的に難しいと考えられています。

東京都立心身障害者口腔保健センターでは、歯周病管理に組織的に取り組み、治療からメンテナンスをシステム化して約10年が経過しました。その結果、リスクの高い難しい症例に対しても、

歯周病の改善や維持が可能になってきました。また、歯周病の改善に伴い、歯科治療に非協力だった患者の歯科適応が向上していくという現象を多く経験し、QOLに関連する障害者の歯周治療の意義の高さを感じています。

そこで今回は、障害者の歯周病の基礎知識と当センターの歯周病管理システムの実際について、私が経験してきた症例を提示しながら解説していきたいと思います。

アンケート集計結果

受講された方々には所定のアンケート用紙に無記名で記載をお願いし、会終了後に回収しました。アンケートを集計し、その結果をまとめたので報告します。

1) 受講者数とアンケート回収率

受講者数は56名であり、アンケート提出者数は32名で回収率は57.1%でした。

2) 性別・年齢

性別は女性25名（86.2%）、男性4名（13.8%）でした。年齢は40歳代が9名（28.1%）と最も多く、次いで、50歳代が8名（25.0%）、20歳代が6名（18.8%）、30歳代5名（15.6%）、60歳代3名（9.4%）、70歳代1名（3.1%）の順でした。

3) 職種

受講者の職種の一覧を表1に示します。

歯科衛生士と歯科医師を合わせると17名（60.7%）でした。

4) 受講者の評価

講演内容に対する受講者の評価を表2に示します。

「非常に良かった」が20名（66.7%）で、7割近くを占めていました。

受講者の感想・意見

講演内容に関する受講者の感想・意見は以下のとおりでした（一部記載）。

- ・とてもわかりやすく、日常にかかわっている方を思い浮かべながら聞くことが出来、ご家族の方やもっと多くの方が知ることの重要性を感じました。
- ・特別支援学校に通うこども達の口腔ケアは本当に難しく歯科指導でも課題です。歯周病にならないために学校がすべき事、学校での保健指導について学びたい。
- ・定期的にいらしてるダウン症患者についてプラスになる講演内容でした。
- ・歯周病について一通りのメンテナンスをやることしかないような現状に一つの解決策があることに希望が見えてきたがスタッフの人数、設備がない所ではどうなのかという疑問が残ります。
- ・口腔内の状況が生活につながっているということを知り、納得することができた。思春期だから荒れていると思うだけでなく、口腔内を観察してみようと思いました。

表1 受講者の職種

職 種	名 (%)
歯科衛生士	12 (42.9)
歯科医師	5 (17.8)
養護教諭	3 (10.7)
施設職員	3 (10.7)
看護師	3 (10.7)
保健師	1 (3.6)
ケアマネージャー	1 (3.6)
計	28 (100)

表2 受講者による評価

評 価	名 (%)
非常に良かった	20 (66.7)
良かった	10 (33.3)
あまり良くなかった	0
計	30 (100)

- ・通所の利用者の口腔ケアの毎日は簡素な状況になっていて口腔内の意識に対する考え方が家族自体が分かっていないため、無理に進めてしまうと問題あり、もっといろいろなところの支援が必要だと思った。
- ・症例提示を説明しながら、とても分かりやすい説明で障害者のP管理の困難さや問題点がとてもクリアーになりました。
- ・わかりやすく良い内容でした。子供の為にも自分にもかかわる事で、ホームケア、プロフェッショナルケアの両方を頑張っていきたいし、歯周病について良く学び対策したいと思いました。
- ・歯周外科が良いと思っていたが、今回の講演で超音波スケーラーで改善できることが分かった。私の歯科医院ではP患者が多く障害のある方も来院するのでぜひ実践してみたいと思います。



講演会風景

今回の講習会が受講者にとって医療、支援の現場における種々な問題・疑問の解決に役立つ内容でありましたら幸いです。今後も受講者の方々の要望を考慮して実りある講演会を企画していきたいと考えています。



最近の乳癌治療事情について

講師：川端英孝 先生

茨城県女性歯科医会 中野 啓子

平成30年2月25日、水戸プラザホテルにて、平成29年度茨城県女性歯科医会の総会及び学術講演会が行われました。



演題は「最近の乳がん治療について」、講師は乳がん治療の名医として知られる虎ノ門病院乳腺内分泌外科部長の川端英孝先生です。

以下の内容で講演して下さいました。



1、癌の統計 乳癌はなぜ増加するのか？

癌領域での乳癌の重要性が増してきています。2017年乳癌の推定罹患数89,000人、死亡数14,000人。

11人に1人が生涯のどこかの時点で乳癌を発症しています。

1968年から2016年の間に3倍に増えてきました。

乳癌が増加した理由は、女性ホルモンの一種であるエストロゲンに暴露する機会とレベルが増加するようなライフスタイルになったからと考えられます。

乳癌のリスクファクターとしては

初潮年齢が早い（1歳早くなると乳癌が5%増加）

閉経年齢が遅い（1歳遅くなると乳癌が3%増加）

初産年齢が遅い（最初の出産年齢が1歳上昇するごとに乳癌のリスクが3%増加）

出産歴がない

アルコールや喫煙

閉経後の肥満

経口避妊薬の使用

ホルモン補充療法

一親等の乳癌の家族歴

などがあげられます。

その他食生活と乳癌発症のリスクとして、大豆製品やイソフラボンの摂取で乳癌発症リスクが低くなる可能性はありますが、サプリメントとして摂

取することの効果、安全性は証明されていません。

乳製品の摂取により乳癌リスクは低くなる可能性はあるとのこと。

2、画像診断、病理診断の進歩とその意義

マンモグラフィー：X線で乳腺の状態を撮影する検査で微細な石灰化を見つけられるのが特徴
超音波検査エコー：乳癌の早期発見に力を発揮しています。乳腺が豊富な若年層に向いています。
他には
MRI検査：造影しないといけないので喘息、腎機能が悪い人には使えない、検査時間が長いなどがありますが、精密検査として選択されます。

3、手術の変遷 拡大から縮小、そして再び全摘へ

一律に乳房を切除していた乳癌も、乳房温存療法が中心になってきましたが、現在また乳房切除手術が増加傾向にあります。

遺伝学の進歩、検査技術の進歩、乳房再建手術の進化などにより、癌の進行度や性質に合わせた治療が行われるようになりました。

リンパ節廓清もセンチネルリンパ節生検により、するかしないかを決めるようになりました。

4、遺伝性乳癌卵巣症候群

主な原因遺伝子として、BRCA1遺伝子またはBRCA2遺伝子が同定され、それらの遺伝子はDNA損傷修復や中心体制御などの機能があり、これらの機能不全はゲノムの不安定性を生じ、細胞の癌化を引き起こします。

アンジェリーナジョリーさんのカミングアウトでも有名になりました。乳癌や卵巣癌を高いリスクで発症する遺伝性腫瘍の一つです。

日本では遺伝性の乳癌への取り組みはまだ始まったばかりです。

5、薬物療法の展開

乳癌の癌細胞の性質を調べて腫瘍の性質に合わせた治療を選択します。

乳がんのタイプ別の治療法

		ホルモン受容体陽性	ホルモン受容体陰性
HER2陰性	(低増殖能)	ルミナルA ＜ホルモン療法＞	トリプルネガティブ ＜化学療法＞
	(高増殖能)	ルミナルB (HER2陰性) ＜ホルモン療法＋化学療法＞	
HER2陽性		ルミナルB (HER2陽性) ＜ホルモン療法＋化学療法＋分子標的療法＞	HER2タイプ ＜化学療法＋分子標的療法＞

6、オンコプラスティックサージェリー

乳房切除手術が必要な人に乳房再建する技術も随分と進歩しています。

7、サバイバーシップ、妊孕性温存など

個人の治療のサマリーとケア計画として、乳癌検診、治療関連副作用の管理、閉経症状とその管理、乳癌予防のガイドラインがあります。

また、受精卵凍結、卵子凍結は確立された技術になり、安全な卵巣刺激プロトコルも確立してきています。

これらの技術を最大限に活用し、かつ遅延なき治療の遂行の為のコンサルは欠かすことができません。

8、分子生物学的な疾患の理解

癌細胞の生物学的特性に的を絞って攻撃するのが、分子標的治療薬です。

悪性度の高かったHER2陽性乳癌は抗HER2療法によって劇的に予後が改善されました。

乳癌についてはエストロゲン受容体とHER2受容体というメカニズムが明らかにされましたが、このいずれも持ち合わせていないトリプルネガティブ乳癌もあり、これらが大きな課題であります。

癌の治療に関わる人は基礎研究の素養が必要です。

分子生物学的理解なくして今後の乳癌治療はあり得ないという状況になってきました。

9、虎ノ門病院、乳腺グループの紹介

キャリアディベロップメントを考えてやっているとのこと。

優しく温厚な人柄が滲み出た川端先生のご講演を聞くと安心して治療を受けられそうです。

貴重なお話を伺うことができとても参考になりました。

そして、この度、茨城女性歯科医会は、これまでの活動が認められ、福田賞をいただきました。





【第26回茨城県歯科医学会】 — 歯科衛生士科 —

2月25日（日）、水戸プラザホテルに於いて第26回茨城県歯科医学会が開催され、2年生、1年生（94名）が参加しました。

2年生は一般口演にて下記の4演題について発表しました。

「歯磨きに対する意識の変化」

「新入生歯科保健指導から学んだこと 第2報」

「姿勢による全身への影響」

「学生の美意識について」

昨年の先輩方の発表を見学してから、アンケート作成、集計、事前抄録、パワーポイントの作成、台本など約10ヶ月に渡りとりかかってきました。岡崎副校長にご指導いただきながら皆が協力して発表にいたることができました。学生は学会で発表することの大切さを知ることができたのではないかと思います。

また、演題ごとに手話で「目的」と「まとめ」を行い、講師の先生にご指導をいただきながら猛



練習し、当日は凛とした姿をみて感激しました。

「茨城歯科専門学校の紹介」では、3年間の学校行事を写真からひと目でわかるように展示をして、立ち止まった方を対象に説明をしました。



2年生は、今回の経験で自信を持ち、近い将来、この茨城県歯科医学会で歯科衛生士として発表してもらいたいと思います。また、1年生は学会初参加の経験を基に来年は自分たちの発表を頑張ってもらいたいと思います。

今回このような機会を与えて頂きましたことを感謝申し上げます。

（文責 庄司）

— 歯科技工士科 —

同じく、第26回茨城県歯科医学会に、歯科技工士科1、2年生16名が参加しました。

午前10時からの茨城県歯科技工士会と共催する第14回歯科技工士科卒後研修会では、講師に千葉県で歯科技工所を開設されている佐藤哲也先生を招聘し、「口腔内スキャナと3Dプリンターを利用したモデルフリーパーシャルデンチャーの製作方法と活用法」のテーマでご講演いただきました。

講演では、デンチャーワークに口腔内スキャナやCAD/CAMを導入することのメリットとリスクマネジメントについて、実体験をもとに紹介されました。

また、技工作業のデジタル化について、機械は道具であり、技工士にはそれを使いこなす知識が大切であると述べられました。これからCAD/CAMを学ぶ学生達にとって、良い教訓になり、常に新しい情報の収集と技術の向上に努めなければならないという心構えもできたのではないかと思います。



午後は、1年生（飯塚祐麻 他12名）が「義歯床体験から感じたこと」のテーマで、上顎口蓋床を口腔内に装着し、実際に飲食をするという実験を行い、補綴物が患者さんに与える影響を調査・考察してポスター発表をしました。



学生達は、講演やポスター発表、デンタルショーと充実した内容の学会に参加でき、さまざまな刺激を受けて、学ぶことの多い一日だったのではないかと思います。

（文責 渡邊）



〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
 公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
 TEL・FAX 029-253-5807
<http://www.ibaraki-dh.net/>
 E-mail jimu@ibaraki-dh.net

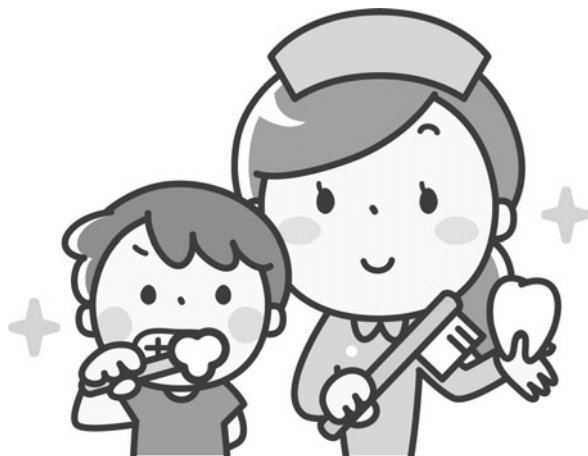
(公社)茨城県歯科衛生士会 水戸支部 住谷 由香利

歯科医院勤務13年目を迎え、衛生士の業務がデジタル化になり、昔の患者様のデータ入力、検査結果の情報提供がスムーズに行う事ができ、患者様により良い医療を提供できるようになりました。今でも色鉛筆と電卓でPCRを計算していたのを懐かしく思います。

現在の勤務先では、予防処置を中心に行っています。主訴がなく、お口の中の健康維持、全身疾患の予防の為に来院する患者様のメンテナンスを行い、健康維持のお手伝いしています。患者様の口腔内の把握、生活環境などを考慮し、患者様に合った指導、処置内容を行うように心掛けています。

最近、処置前に待合室で涙を流している患者様が来院しました。どのように対応したら良いか悩みましたが、泣いている理由はしばらく来院していないから緊張して泣いてしまったようでした。私はその患者様の緊張を解き、持ち前の明るさで処置を行い、患者様の笑い声が聞け、涙のスタートでしたが、終わった後は笑顔でお帰り頂けたのでホッとしました。

このような対応ができたのは、勤務先の先生の治療方針から学ぶ事ができたと思っています。患者様が、処置に満足し、気持ち良くお帰り頂くように歯科衛生士として日々精進して行きたいと考えています。





去年9月末に引っ越しをして新しい家にも慣れてきたと思っていた頃、飼い犬のブルタン「ブー、フレンチブルドッグ11歳、オムツ着用」が脱走しました。

ちょっと近所まで家を留守にした時に一緒に抜け出したみたいでした。いつも家のどこかにいるだろうと思って、家に帰ってから全然いなくなった事に気が付きませんでした。

いない事に気付いた時には30分以上経過し、家族総出で搜索が始まりました。家の前の道路が車の通りが激しく、もしかしてと思いました。そこにはなく一安心。家の裏通りや近所をくまなく探しましたが、どこにもいませんでした。

もしかしたら前の家に戻っているかとも思い、行ってみましたがいませんでした。

いなくなって2時間経過した頃、もうダメかとも思いました。泣きながらインターネットで搜索犬を調べ、動物愛護センターに電話し、その後に警察に電話をしました。警察の担当の方が不在で、後で電話をかけなおしてくれると言われました。待っていてもしょうがないと思い、最後の望みをかけて家の近所をまた探しに行きました。雨が降り始め空が暗くなってきて、ブーが不安できとお腹空かせているだろうなと思うと、また泣きそうになったその時です。ちょうどオムツをつけた黒いフレンチブルドッグを発見。

大きな声でブーっと叫び、猛ダッシュで行き、思いっきり泣きながら抱きしめました。ブーは嫌がって暴れましたが、これで逃げたらおしまいだと思い、抱きしめたまま家に連れて帰りました。家族みんなで泣きながら、ブーを迎えました。犬

は犬でも、もう立派な家族だねっと話し、雨に濡れたブーの身体をタオルで拭こうとした時、急に唸り声をあげて咬みつかれそうになりました。

恩を仇で返すとはこの事だと思い、いつもならお尻をベチッと叩く所ですが今日は許してあげました。もう2度こんな思いはしたくないと次の日にマイクロチップを埋め込み、家の玄関も犬が出られないように柵を作ってもらいました。

今は何でもなかったかのようにしています。どこをどう冒険してきたのかを聞きたいです。

(maru)

栗駒山を登った後で川原毛を訪ねました。

秋田県湯沢市の携帯電話が通じない山中に野天湯の川原毛大湯滝があります。

栗駒山から湯沢市をつなぐ道路から岐れて、細い林道を廻ります。終点の駐車場からさらに徒歩で10分ほど遊歩道を歩くと滝の音が聞こえてきます。この滝そのものが温泉。

上流で湧出する温泉が沢水と合流、20mの高さからダイナミックに流れ落ち、滝つぼや溪流は天然の露天風呂となっています。もちろん混浴です。

滝壺につかると天然のジャグジーが物凄い勢いでビックリ。下山後の良いマッサージになってくれます。訪れた9月下旬の早朝は貸切状態で快晴。大変贅沢な時間を過ごすことができました。



この温泉は24時間365日無料でオープンしているはずですが、日々コンディションが異なり、一般的な入浴適期は7月上旬から9月中旬だそうです。

(樹)

1月下旬、大相撲初場所の観戦に家内と両国国技館に出かけた。30年ぶりになるだろうか。ナマの迫力に心が踊った。知人のご夫婦からありがたいお誘いを受けて楽しい時間を過ごした。

当日、早めに出かけて亀戸天神まで足をのばした。「うそ替え神事」の期間中で大勢の参拝客でにぎわっていた。「去年の悪しきはうそ（鷺）となり、まことの吉にとり（鳥）かえん」との言い伝えがある。早速、神頼みをして縁起物の「木彫りの鷺（うそ）」をいただいた。今年はこれでなんとかな

るだろう？とちゃっかりお願いした。境内には300本以上の梅があり、東京一とも言われる藤棚がある、改めてゆっくりと訪れたいと思った。

さて、本場所の方はお目当ての稀勢の里は休場と肩すかしを食ったが、高安が強烈な体当たりから回転のいい突っ張りで豪栄道を突き出して破り大関対決を制し溜飲を下げた。そして結びの一番は横綱鶴竜が遠藤に押し出され座布団が舞った。もともと相撲は農作物の収穫を占う祭りの儀式として行われてきたらしい。江戸時代には歌舞伎と並んで一般庶民の娯楽として人気が高まったそう。確かに鍛え上げられた体と体のぶつかり合いは迫力満点だ。

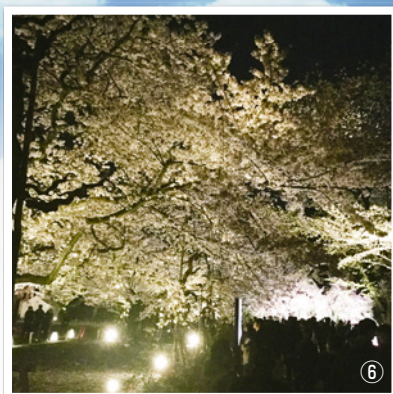
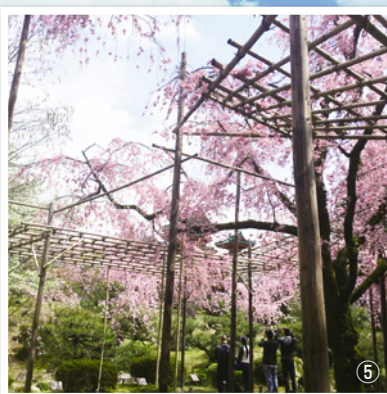
もう少しで決まる「荒れる春場所」の優勝力士は高安か、それとも鶴竜？はたまた魁聖？。

(生る)



みんなの写真館

Photo
Gallery



①花見小路 ②建仁寺 ③醍醐寺

④円山公園 ⑤平安神宮神苑 ⑥二条城の夜桜 ⑦清水寺

平成29年4月12日 家内と一緒に、朝早起きして、東京駅7時発『のぞみ』に乗車して、9時17分京都駅着。直ちにコインロッカーに荷物を預けて、市営地下鉄1日フリーチケットを購入して、地下鉄と徒歩で、京都市内の桜の名所を周りました。

(社)茨城県南歯科医師会 久米 清



会 員 数

平成30年2月28日現在

支 部	会員数(前月比)
日 立	120
珂 北	144
水 戸	154
東西茨城	70
鹿 行	106
土浦石岡	176
つくば	122 -1
県 南	180 ±0
県 西	154 -1
西 南	104
準 会 員	4
計	1,333 -2

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,153名
2種会員	48名
終身会員	128名
準 会 員	4名
合 計	1,333名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 30 年 4 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。